# 案件2 JR高槻駅ホーム拡充について

### 目 次

- 1 主な経過
- 2 鉄道施設整備
- 3 西口周辺都市基盤整備

# 1 主な経過

年月日	主な経過		
平成 18 年 ~ 20 年度	JR西日本・国・府・市が連絡調整会議を5回にわたって開催		
平成 21 年 5月 18日	市及び市議会がJR西日本にホーム拡幅を要望		
平成 25 年 4月 17日	JR西日本と高槻市が、東海道本線高槻駅改良及び周辺都市基盤 整備に関する基本協定書と工事協定書を締結		
7月12日	市議会及び市がJR西日本に安全対策・特急停車を要望		
11月13日	市街地整備促進特別委員会		
11月18日~	市が西口周辺都市基盤整備にかかる地元説明会を開催		
12月 5日~	JR西日本が、JRゆめ咲線桜島駅で昇降式ホーム柵の試行運用 を開始(~平成26年3月末)		
1月21日	JR西日本と高槻市が、大規模災害等発生時における帰宅困難者 対応に関する覚書を締結		

# 2 鉄道施設整備

## 1 事業概要

- 〇公共性・公益性の高いJR高槻駅のホーム拡充に対して、国補助制度(都市・地域交通戦略推進事業)を活用しながら本市も支援を行う
- ○国補助の採択要件となる総合交通戦略の策定については、平成26~27年度に取組む

事業者	JR西日本							
工事内容	・配線変更工事:軌道撤去・新設、分岐器撤去・新設、電気設備移転 ・ホーム新設工事:ホーム新設、電気設備工事 ・乗換通路工事:乗換通路新設、駅舎改築、昇降設備設置(EV、ESCA、階段) ・支障移転工事:き電線・電力設備・信号設備・通信設備							
	平成 25 年度 平成 26 年	度 平成 27 年度	平成 28 年度					
   工事工程	詳細設計		付帯工事					
	支障移転工事、	支障移転工事、配線変更工事						
	ホーム	新設工事、乗換通路工事	供用開始予定 					

### 2 年次別資金計画

- ○本年度の事業費は、契約差金により減 (300百万円 → 263百万円)
- ○本年度の国費は、最終要望額より増額内示 (100百万円 → 210百万円)
- ○4箇年で 国:市:JR=1:1:1となるように年次別資金計画を調整

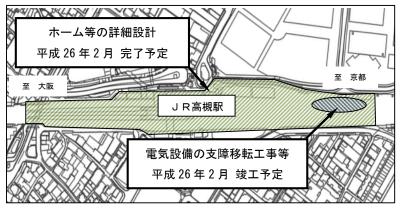
単位: 百万円

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	合 計
	事業費	(300. 0) 263. 0	1, 300. 0	2, 300. 0	(900. 0) 900. 0	(4, 800. 0) 4, 763. 0
	J R西日本	(100, 0) 53. 0	433. 4	766. 7	(300. 0) 334. 6	(1, 600. 0) 1, 587. 7
	補助金	(200. 0) 210. 0	866. 7	1, 533. 3	(600. 0) 565. 3	(3, 200. 0) 3, 175. 3
	国	(100. 0) 210. 0	433. 3	766. 7	(300. 0) 177. 7	(1, 600. 0) 1, 587. 7
	市	(100. 0) 0. 0	433.3	766. 7	(300. 0) 387. 7	(1, 600. 0) 1, 587. 7

※() は変更前

### 3 本年度の進捗状況と次年度の予定

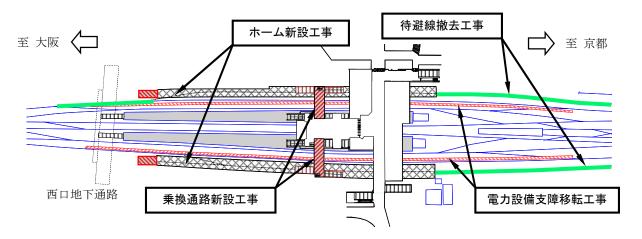
#### (1) 本年度の進捗状況



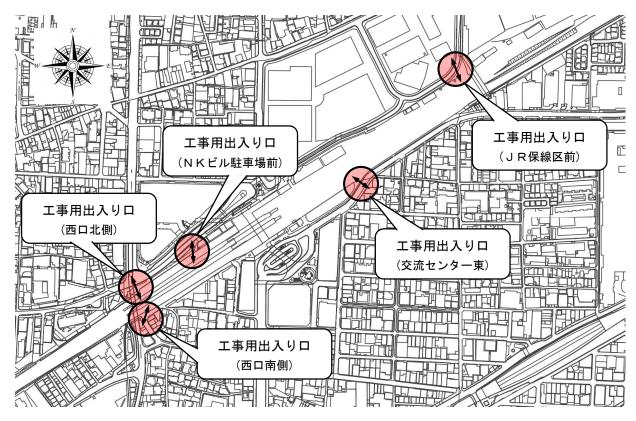


電気設備の支障移転状況

#### (2) 次年度の予定



#### [ 工事用車両の進入路(案)]



# 3 西口周辺都市基盤整備

### 1 整備方針について

#### 〇西口周辺地域の交通実態を踏まえ、検討課題と評価の視点を整理

<検討課題>

- ・新西口改札利用者の安全で円滑なアクセ スの確保
- ・既存の駅周辺の歩行者・自転車への配慮
- ・地元住民の生活環境への配慮
- ・通過交通(自動車)への適切な対応

<評価の視点>

- ・地下通路から新西口改札までの経路の安全性・円滑性
- ・乗降客が滞留しがちな新西口改札付近の 交通安全
- ・自動車による地区内へのアクセスルート
- ・通過交通(自動車)の影響
- ・既存ルートに対する代替ルートの想定

#### 〇整備方針(素案)

・新西口改札から既存地下通路への安全・安心な駅利用者動線を確保するため、上田 辺町3号線の一部を歩行者専用道路として再整備

